



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東
 コード番号 3560 URL <https://www.hobonichi.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO兼COO（氏名） 糸井重里
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼管理部長（氏名） 鈴木基男（TEL）03-5422-3804
 半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	5,744	14.2	1,021	△5.4	1,058	△1.9	731	△2.0
2024年8月期中間期	5,030	13.3	1,080	16.3	1,078	17.6	746	17.7
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年8月期中間期	315.26		315.22					
2024年8月期中間期	321.71		321.59					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	6,544	5,144	78.6
2024年8月期	6,492	4,523	69.7

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 5,144百万円 2024年8月期 4,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	—	—	90.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	8.8	760	38.8	760	39.8	530	32.8	228.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年8月期中間期	2,321,800株	2024年8月期	2,320,600株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年8月期中間期	430株	2024年8月期	430株
-------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年8月期中間期	2,321,103株	2024年8月期中間期	2,320,200株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確実要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2025年4月11日（金）17時以降、当社ウェブサイト<https://www.hobonichi.co.jp/>に掲載予定です。
また、2025年4月16日（水）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間貸借対照表	6
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
売上高	5,030,419千円	5,744,096千円	713,677千円	14.2%
営業利益	1,080,171千円	1,021,990千円	△58,180千円	△5.4%
経常利益	1,078,590千円	1,058,570千円	△20,019千円	△1.9%
中間純利益	746,427千円	731,749千円	△14,678千円	△2.0%

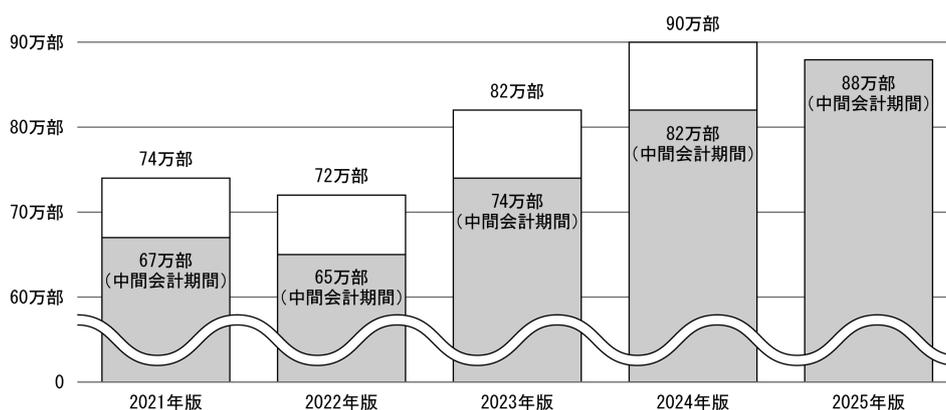
当社は当中間会計期間において、主力商品の『ほぼ日手帳 2025』を例年通り2024年9月1日より、4月はじまり版の『ほぼ日手帳 2025 spring』を2025年2月1日より販売開始しました。

「ほぼ日手帳」においては幅広いユーザーの手にとってもらえるような新たなブランド、IPやアーティストとのコラボレーションをこれまでも実施してきましたが、2025年版では、2024年版に引き続き『ONE PIECE magazine』やイラストレーターの北岸由美さん、新たにTVアニメ『SPY×FAMILY』や「パディントンTM」をはじめとした、多種多様なコラボレーションが実現しています。また、カバーや下敷き、シールなど周辺文具の拡充を進め、2025年版は新作アイテムが手帳と文具あわせて350以上となる過去最大のラインナップとなりました。

販路については、直販ECサイト「ほぼ日ストア」のみならず、Amazon(国内・海外)や楽天市場、天猫国際など外部ECサイトでの取扱を拡充するほか、国内外の取組先への卸販売を通して、より多くのユーザーが普段利用する場所で「ほぼ日手帳」を購入できる環境を構築しています。また、ニューヨークやロンドンなどの海外主要都市にて現地ユーザーとの交流イベント「ほぼ日手帳ミーティングキャラバン」を開催し、販売拡大が続く海外販路におけるプロモーションを強化しました。

結果として、「ほぼ日手帳」の国内売上高は1,828,880千円(前年同期比9.8%増)、海外売上高は2,364,463千円(前年同期比19.0%増)と国内外ともに伸長し、国内外合計で4,193,344千円(前年同期比14.8%増)となりました。海外売上高の構成比率は56.4%(前年同期比2.0pt増)と増加しました。当中間会計期間までの2025年版の販売部数は88万部となり、過去最高の販売部数となった2024年版の90万部に迫る状況となっています。

『ほぼ日手帳』販売部数推移



「ほぼ日手帳」以外の商品については、売上高は1,157,171千円(前年同期比11.7%増)となりました。8回目の実施となるコンテンツのフェスティバル「生活のたのしみ展」を1月9日から新宿で開催しました。「MOTHERのBAZAAAAAR!!」をはじめとする人気プロジェクトの出展だけでなく、「石田ゆり子さんがいっしょに暮らすものたち」など他には無い品揃えを実現した新企画も含めて57店舗が出展し、販売総額は過去最大となりました。また、ファッション関連商品の売上が減少した一方、新しく立ち上げたオリジナルアパレルブランド「Taonaus」や、キャンプのブランド「yozora」、「ほぼ日のホワイトボードカレンダー」などが好調に推移しました。「ほぼ日曜日」では、『MOTHER2』発売30記念イベント「『MOTHER2』のひみつ。」、過去最高となる約20,000人のお客さまにご来場いただいたかくれんぼ絵本「ミッケ!」を体験できる展覧会、全国から70種以上のご当地アイスを取り寄せた「冬なのにご当地アイスまつり」などが大きな注目を集め、来場者数・売上金額ともに前年同期比で増加しました。

これらの結果、総売上高は5,744,096千円(前年同期比14.2%増)となりました。

売上原価については、「ほぼ日手帳」の原価率は31.4%(前年同期比1.1pt減)と改善している一方、「ほぼ日手帳」以外の原価率は52.1%(前年同期比5.3pt増)と上昇したため、全体の売上原価率は37.0%(前年同期比0.5pt増)となりました。

販売費及び一般管理費については、「生活のたのしみ展」による一時的な費用発生のほか、海外直営販路での売上増加による販売費用上昇などにより増加しました。

その結果、当中間会計期間の営業利益は1,021,990千円(前年同期比5.4%減)、経常利益は1,058,570千円(前年同期比1.9%減)、中間純利益は731,749千円(前年同期比2.0%減)となりました。なお、委託先からの受取保証金35,776千円を営業外収益として計上しています。

その他の事業活動として、糸井重里が自身の手がけた広告コピーについて語る「まずは状況から話そうか。糸井重里のコピー10」、お笑い文化に関する対談「NON STYLE石田明さんと、『お笑い』の話を。」などのコンテンツを、「ほぼ日刊イトイ新聞」では読みものコンテンツとして、「ほぼ日の学校」では動画コンテンツとして展開しました。また、「TOBICHI」では、さまざまなイベントの開催のみならず、「ほぼ日手帳」をはじめとする商品を実際に手に取れる場所として来店者数と売上金額が増加し、インバウンドの来店者数は前年同期比で倍以上の規模に大きく増加しました。このように、当社は運営する「場」において、生活のたのしみとなるような「いい時間」を過ごしていただけるよう、コンテンツを作り、編集し届けています。業績はこうしたすべての活動の結果だと考えています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (2024年8月31日)	当中間会計期間 (2025年2月28日)	前事業年度末比増減
資産合計	6,492,759千円	6,544,402千円	51,642千円
負債合計	1,969,229千円	1,400,172千円	△569,056千円
純資産合計	4,523,530千円	5,144,230千円	620,699千円

(資産の部)

流動資産は、4,679,696千円と前事業年度末に比べて20,720千円の減少となりました。これは主に商品の減少753,330千円、売掛金の減少675,471千円、仕掛品の減少51,993千円、現金及び預金の増加1,480,755千円によるものです。

有形固定資産は、247,375千円と前事業年度末に比べて18,457千円の減少となりました。これは主に減価償却による減少24,314千円、工具、器具及び備品の取得による増加4,566千円によるものです。

無形固定資産は、752,668千円と前事業年度末に比べて65,043千円の増加となりました。これは主に自社システムなどのソフトウェア取得による増加288,553千円、ソフトウェア仮勘定の減少137,420千円、ソフトウェアの減価償却による減少85,555千円によるものです。

投資その他の資産は、864,662千円と前事業年度末に比べて25,777千円の増加となりました。これは主にその他に含まれる長期前払費用の増加13,745千円、保証金の増加11,646千円、繰延税金資産の増加11,590千円、投資有価証券の時価評価額の減少11,205千円によるものです。

(負債の部)

流動負債は、1,163,910千円と前事業年度末に比べて577,354千円の減少となりました。これは主に買掛金の減少1,086,577千円、未払法人税等の増加303,876千円、未払金の増加156,499千円によるものです。

固定負債は、236,261千円と前事業年度末に比べて8,298千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金の増加10,078千円によるものです。

(純資産の部)

純資産の部は、5,144,230千円と前事業年度末に比べて620,699千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加627,341千円、その他有価証券評価差額金の減少8,023千円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は2,675,349千円と前事業年度末と比べ1,480,755千円の増加となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	対前年同期比 (増減額)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,472,993千円	1,816,483千円	343,489千円
投資活動による キャッシュ・フロー	△152,594千円	△228,294千円	△75,699千円
財務活動による キャッシュ・フロー	△105,239千円	△103,838千円	1,401千円

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,816,483千円の純収入となりました。これは主に税引前中間純利益1,058,570千円、売上債権の減少額675,471千円、棚卸資産の減少額805,324千円、減価償却費142,410千円、未払又は未収消費税等の増加額129,794千円による増加要因と、仕入債務の減少額1,086,577千円、賞与引当金の減少額54,247千円、法人税等の支払額42,935千円による減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、228,294千円の純支出となりました。これは主に無形固定資産の取得に162,522千円、長期前払費用の取得に48,273千円支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、103,838千円の純支出となりました。これは主に配当金の支払額104,135千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

	2025年8月期 予想	2024年8月期 実績	対前期増減率
売上高	8,200百万円	7,534百万円	8.8%
営業利益	760百万円	547百万円	38.8%
経常利益	760百万円	543百万円	39.8%
当期純利益	530百万円	399百万円	32.8%

2025年8月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、2024年10月11日に発表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

	(単位：千円)	
	前事業年度 (2024年8月31日)	当中間会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,194,594	2,675,349
売掛金	1,152,436	476,965
商品	2,167,096	1,413,765
仕掛品	87,175	35,181
貯蔵品	9,877	-
その他	89,636	79,772
貸倒引当金	△401	△1,339
流動資産合計	4,700,416	4,679,696
固定資産		
有形固定資産		
建物	348,056	348,056
工具、器具及び備品	185,261	189,827
その他	11,768	13,058
減価償却累計額	△279,252	△303,566
有形固定資産合計	265,833	247,375
無形固定資産		
ソフトウェア	369,935	572,933
ソフトウェア仮勘定	311,371	173,950
その他	6,317	5,783
無形固定資産合計	687,625	752,668
投資その他の資産		
投資有価証券	362,244	351,039
その他	480,069	517,052
貸倒引当金	△3,429	△3,429
投資その他の資産合計	838,884	864,662
固定資産合計	1,792,343	1,864,706
資産合計	6,492,759	6,544,402
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,201,839	115,262
未払金	231,187	387,686
未払法人税等	53,540	357,416
賞与引当金	119,150	64,903
その他	135,547	238,642
流動負債合計	1,741,265	1,163,910
固定負債		
退職給付引当金	177,389	187,467
資産除去債務	3,975	3,975
その他	46,599	44,819
固定負債合計	227,963	236,261
負債合計	1,969,229	1,400,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,432	351,122
資本剰余金	340,432	341,122
利益剰余金	3,697,750	4,325,091
自己株式	△1,975	△1,975
株主資本合計	4,386,639	5,015,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136,891	128,868
評価・換算差額等合計	136,891	128,868
純資産合計	4,523,530	5,144,230
負債純資産合計	6,492,759	6,544,402

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	5,030,419	5,744,096
売上原価	1,834,296	2,125,060
売上総利益	3,196,122	3,619,035
販売費及び一般管理費	2,115,951	2,597,044
営業利益	1,080,171	1,021,990
営業外収益		
受取補償金	935	35,776
固定資産売却益	200	-
その他	813	1,886
営業外収益合計	1,948	37,662
営業外費用		
為替差損	3,506	1,078
その他	23	4
営業外費用合計	3,530	1,083
経常利益	1,078,590	1,058,570
税引前中間純利益	1,078,590	1,058,570
法人税、住民税及び事業税	290,898	334,869
法人税等調整額	41,264	△8,048
法人税等合計	332,162	326,821
中間純利益	746,427	731,749

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	1,078,590	1,058,570
減価償却費	95,117	142,410
貸倒引当金の増減額(△は減少)	254	937
賞与引当金の増減額(△は減少)	△65,845	△54,247
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,049	10,078
受取利息及び受取配当金	△9	△981
受取補償金	△935	△35,776
為替差損益(△は益)	4,608	3,590
売上債権の増減額(△は増加)	261,137	675,471
棚卸資産の増減額(△は増加)	793,958	805,324
貯蔵品の増減額(△は増加)	7,802	9,877
その他の資産の増減額(△は増加)	△7,614	9,863
仕入債務の増減額(△は減少)	△769,901	△1,086,577
未払又は未収消費税等の増減額	226,191	129,794
その他の負債の増減額(△は減少)	△7,621	154,683
その他	△530	△360
小計	1,630,250	1,822,660
利息及び配当金の受取額	9	981
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△158,202	△42,935
補償金の受取額	935	35,776
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,472,993	1,816,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,807	△5,856
無形固定資産の取得による支出	△107,714	△162,522
長期前払費用の取得による支出	△37,300	△48,273
差入保証金の差入による支出	△13	△11,641
差入保証金の回収による収入	21	-
その他	220	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,594	△228,294
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	337	1,380
自己株式の取得による支出	△266	-
配当金の支払額	△104,134	△104,135
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,175	△1,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,239	△103,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,651	△3,595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,210,506	1,480,755
現金及び現金同等物の期首残高	1,373,312	1,194,594
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,583,819	2,675,349

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社はウェブメディアと物販を複合的に行う単一のセグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しています。